

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料⑥
令和4年12月27日
経済産業部産業観光課
担当：松原
連絡先：022-358-0524

官民連携実証事業「おためしイノベーション TOMIYA」 行政・地域課題解決プロジェクト実証企業が決定！

本市では「行政・民間企業・住民（富谷塾）」との協働で、行政課題や地域課題に対して民間のサービス・テクノロジーの活用により最適な解決策・サービス検証を行う「おためしイノベーション TOMIYA（以下、OIT）」に取り組んでいます。ヒト・モノ・コトが集まる富谷市まちづくり産業交流プラザ TOMI+において、全国規模で展開する「Urban Innovation JAPAN」とも連携しながら、より効果的に事業を展開しています。

この度、OITで洗い出した3つのテーマについて官民協働で解決に導く実証企業が決定しました。

今後は、サービス開発から実証実験、検証作業までの一連を実証企業と市職員が3月まで「協働」で取り組みながら、新たなサービスの提供を目指します。

報道機関の皆さまにおかれましては、行政・地域課題解決に向けた本事業での取り組みを、ぜひ取り上げていただきますようお願いいたします。

記

1. 実証事業テーマ

テーマ1 「市民のニーズを把握し、農福連携も兼ねた、新しい市民農園を開設したい！」

→市民農園に対する市民ニーズを把握するとともに、イベントを通じて農福連携の可能性を検証するもの。（農林振興課）

実証企業：株式会社アグリクス（岐阜県高山市）



テーマ2 「地域学習を探究型学習につなげる、デジタル社会科副読本を作りたい！」

→地域学習で使用している社会科副読本を、郷土により興味を持てる、かつ、探究型学習につながるような教育ツールの開発・検証を行うもの。（学校教育課）

実証企業：株式会社スピード（愛知県瀬戸市）



テーマ3 「働き盛り世代1人1人に健康行動を促す仕組みを作りたい！」

→働き盛り世代向けに、自分の健康に意識を向けて、行動、それを継続できるような仕組みの検証を行うもの。（健康推進課）

実証企業：株式会社リンクアンドコミュニケーション（東京都千代田区）

